

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	麗澤大学
設置者名	学校法人 廣池学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
外国語学部	外国語学科	夜・通信	14			14	13	
経済学部	経済学科	夜・通信	14			14	13	
国際学部	国際学科	夜・通信	14			14	13	
	グローバルビジネス学科	夜・通信						
経営学部	経営学科	夜・通信	14			14	13	
工学部	工学科	夜・通信	14			14	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス URL	https://rp.reitaku-u.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml
上記アクセス後、「麗澤大学シラバス照会」を押して、「実務経験あり」でキーワード検索を行う。	

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	麗澤大学
設置者名	学校法人 廣池学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

教育情報の公表「12. 役員名簿」 https://www.reitaku.jp/disclosure/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社代表取締役社長	2025. 6. 13～ 2028 年度定時 評議員会終結 の時まで	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社代表取締役	2025. 6. 13～ 2028 年度定時 評議員会終結 の時まで	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社代表取締役社長	2025. 6. 13～ 2028 年度定時 評議員会終結 の時まで	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社代表取締役	2025. 6. 13～ 2028 年度定時 評議員会終結 の時まで	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	麗澤大学
設置者名	学校法人 廣池学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 1～2月シラバスの執筆期間を設け、各担当教員が期間内にWEB上で執筆する。「シラバス手順書」、「シラバスガイド」を提示の上、シラバスの内容には授業の方法及び内容、授業計画、到達目標、成績評価の方法等を含む。3月にWEB上で公表している。	
授業計画書の公表方法	https://rp.reitaku-u.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則にて、単位の算定基準、単位の認定について定め、また各学部でも履修規程を制定し、単位修得に必要な条件を定めている。学則、履修規程に基づき、各教員はシラバスに記載された成績評価の方法、基準のとおり厳格かつ適正な成績評価を行っている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) GPAの計算方法 評価S(100～90)をGP4.0点、評価A(89～80)GPを3.0点、評価B(79～70)をGP2.0点、評価C(69～60)をGP1.0点として換算する。 GPA=(各科目のGP×単位数)の合計/履修登録科目の単位合計 成績評価指標として用いるとともに奨学金等の採否に利用している。 「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」は別添付書類の通り。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://sites.google.com/ad.reitaku-u.ac.jp/guide/%E5%AD%A6%E4%BF%AE%E6%88%90%E6%9E%9C#h.2b92gkebxsi
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学部、専攻ごとに具体的なディプロマポリシーを設け、その判断基準に沿って認定された単位を、卒業要件単位数を満たす形で修得した学生に授与している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.reitaku-u.ac.jp/pdf/gakubu_DP.pdf

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	麗澤大学
設置者名	学校法人 廣池学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.reitaku.jp/disclosure/financial/
収支計算書又は損益計算書	https://www.reitaku.jp/disclosure/financial/
財産目録	https://www.reitaku.jp/disclosure/financial/
事業報告書	https://www.reitaku.jp/disclosure/financial/
監事による監査報告(書)	https://www.reitaku.jp/disclosure/financial/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity/141/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity/141/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 外国語学部 外国語学科
教育研究上の目的（公表方法：大学公式ウェブサイト「教育情報の公表」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/ ）
（概要） 建学の精神「知徳一体」を基軸にした人格教育によって、多言語・多文化の平和的共存を実現するための包括的な価値観の形成及び人格陶冶を目指す。かつ国際教養教育により外国語・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えたグローバル化に対応できる国際的教養人を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/ ）
（概要） 本学は、「人類に普遍的な道徳の最高原理に基づいた教育を行い、その精神の上に現代の科学と知識を十分に修得させる知徳一体の人材の養成」を使命としている。この使命に基づき、次のような人物の育成を教育目標として掲げている。 (1) 大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い英知を備えた人物 (2) 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物 (3) 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物 これらの人間像を「学士力」として言い換えれば、それぞれ、次のように表現される。 (1) 物事を公平にみる力 (2) つながる力 (3) 実行する力 本学では、基本的にこれら 3 つの力を備えた学生が卒業を認定され、学位を授与される。学部、専攻ごとに具体的なディプロマポリシーを設け、それらの判断基準に沿って認定された単位を、卒業要件単位数を満たす形で修得した学生に授与するものとし、これを本学の学位授与方針とする。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/ ）
（概要） 本学では、変化の激しい社会を生きるため「生涯学び続ける力」を育む。そのため、全学基盤教育として、語学と世界を学ぶグローバル教育、建学の理念に学ぶ道徳教育、データや AI の活用について学ぶデータサイエンス教育、社会的自立に向け必要となる能力や態度を学ぶキャリア教育を 4 本柱とする「麗澤スタンダード科目」を設置している。主体的に学問と向き合いながら、専門教育を学ぶための基盤となる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、統合的な学習経験と創造的思考力を、文理横断・文理融合型の学びの中で身につける。そのうえで、本学の学生たちは、それぞれの分野において、卒業認定・学位授与の方針に定める 3 つの力(物事を公平にみる力、つながる力、実行する力)を育むよう期待されている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/ ）
（概要） 語学力・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えた、国際的教養人を育成するという本学部の教育目標を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身に付けている者を求め、受け入れる。 (1) 本学外国語学部の学習内容を理解し、関心を持つ者 (2) 外国語学部での学習に必要な基礎的知識を持つ者 (3) 外国語の基礎的な運用技能を持つ者

(4) 外国語学部で学ぶ目的意識の強い者
(5) 高等学校時代の学習及び諸活動において成果を挙げた者

学部等名 経済学部 経済学科
教育研究上の目的（公表方法：大学公式ウェブサイト「教育情報の公表」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/ ）
（概要） 建学の精神「知徳一体」を基軸にした人格教育によって、多言語・多文化の平和的共存を実現するための包括的な価値観の形成及び人格陶冶を目指す。かつ国際教養教育により外国語・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えたグローバル化に対応できる国際的教養人を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/ ）
（概要） 本学は、「人類に普遍的な道徳の最高原理に基づいた教育を行い、その精神の上に現代の科学と知識を十分に修得させる知徳一体の人材の養成」を使命としている。この使命に基づき、次のような人物の育成を教育目標として掲げている。 (1) 大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い英知を備えた人物 (2) 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物 (3) 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物 これらの人間像を「学士力」として言い換えれば、それぞれ、次のように表現される。 (1) 物事を公平にみる力 (2) つながる力 (3) 実行する力 本学では、基本的にこれら3つの力を備えた学生が卒業を認定され、学位を授与される。学部、専攻ごとに具体的なディプロマポリシーを設け、それらの判断基準に沿って認定された単位を、卒業要件単位数を満たす形で修得した学生に授与するものとし、これを本学の学位授与方針とする。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/ ）
（概要） 本学では、変化の激しい社会を生きるため「生涯学び続ける力」を育む。そのため、全学基盤教育として、語学と世界を学ぶグローバル教育、建学の理念に学ぶ道徳教育、データやAIの活用について学ぶデータサイエンス教育、社会的自立に向け必要となる能力や態度を学ぶキャリア教育を4本柱とする「麗澤スタンダード科目」を設置している。主体的に学問と向き合いながら、専門教育を学ぶための基盤となる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、統合的な学習経験と創造的思考力を、文理横断・文理融合型の学びの中で身につける。 そのうえで、本学の学生たちは、それぞれの分野において、卒業認定・学位授与の方針に定める3つの力(物事を公平にみる力、つながる力、実行する力)を育むよう期待されている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/ ）
（概要） 国際性と倫理性を備え国際社会に貢献し得る人材を育成するという理念のもとに、経済学に関する基礎的専門力を備えた人材、すなわち国際公共人を育成するという本学部の教育目標を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身に付けている者を求め、受け入れる。 (1) 「知徳一体」の教育理念を理解し、関心を持つ者

(2) 経済学部で学ぶ目的意識の強い者 (3) 経済学部で学ぶ必要基礎的知識の強い者 (4) 経済学部で学ぶ必要基礎的知識の強い者 (5) 高等学校時代の学習及び諸活動において成果を挙げた者 経済学部の学習内容とは、経済専攻の4つのコース（経済コース、観光・地域創生コース、経済データサイエンスコース、国際経済・金融コース）における学びのことである。経済学部で学ぶ目的意識が強いとは、以下に示した内容を学ぼうとする強い意欲があることである。 1. 論理的思考力、情報技術、数理的手法、コミュニケーション能力などを活用して、社会課題の解決に取り組む意欲 2. 探究心を持って情報収集し、自らの考えを論理的に構成し、適切な表現で発表したり論述したりする意欲 3. 他者との相互理解を図り、協調して課題解決に取り組む意欲 4. 独創性があり、新しいことに挑戦しようとする意欲 語学力・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えた、国際的教養人を育成するという本学部の教育目標を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身に付けている者を求め、受け入れる。 (1) 本学外国語学部の学習内容を理解し、関心を持つ者 (2) 外国語学部での学習に必要な基礎的知識を持つ者 (3) 外国語の基礎的な運用技能を持つ者 (4) 外国語学部で学ぶ目的意識の強い者 (5) 高等学校時代の学習及び諸活動において成果を挙げた者
--

学部等名 国際学部 国際学科
教育研究上の目的（公表方法：大学公式ウェブサイト「教育情報の公表」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/）
（概要） 建学の精神「知徳一体」を基軸にした人格教育によって、多言語・多文化の平和的共存を実現するための包括的な価値観の形成及び人格陶冶を目指す。かつ国際教養教育により外国語・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えたグローバル化に対応できる国際的教養人を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）
（概要） 本学は、「人類に普遍的な道徳の最高原理に基づいた教育を行い、その精神の上に現代の科学と知識を十分に修得させる知徳一体の人材の養成」を使命としている。この使命に基づき、次のような人物の育成を教育目標として掲げている。 (1) 大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い英知を備えた人物 (2) 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物 (3) 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物 これらの人間像を「学士力」として言い換えれば、それぞれ、次のように表現される。 (1) 物事を公平にみる力 (2) つながる力 (3) 実行する力 本学では、基本的にこれら3つの力を備えた学生が卒業を認定され、学位を授与される。学部、専攻ごとに具体的なディプロマポリシーを設け、それらの判断基準に沿って認定された単位を、卒業要件単位数を満たす形で修得した学生に授与するものとし、これを本学の学位授与方針とする。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」）

針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/)
(概要) 本学では、変化の激しい社会を生きるため「生涯学び続ける力」を育む。そのため、全学基盤教育として、語学と世界を学ぶグローバル教育、建学の理念に学ぶ道徳教育、データや AI の活用について学ぶデータサイエンス教育、社会的自立に向け必要となる能力や態度を学ぶキャリア教育を 4 本柱とする「麗澤スタンダード科目」を設置している。主体的に学問と向き合いながら、専門教育を学ぶための基盤となる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、統合的な学習経験と創造的思考力を、文理横断・文理融合型の学びの中で身につける。 そのうえで、本学の学生たちは、それぞれの分野において、卒業認定・学位授与の方針に定める 3 つの力(物事を公平にみる力、つながる力、実行する力)を育むよう期待されている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）
(概要) グローバル社会で生き抜くコミュニケーション能力と人間力を身につけ、地球規模で生ずる様々な問題を把握し、それに対処していける人材、すなわち高い志と倫理観を備えたグローバルリーダーを育成するという本学部の教育理念を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身に付けている者を求め、受け入れる。 (1) 「知徳一体」の教育理念を理解し、関心を持つ者 (2) 国際学部の学習内容を理解し、関心を持つ者 (3) 国際学部での学習に必要な基礎的知識を持つ者 (4) 英語の基礎的な運用技能を持つ者 (5) 国際学部で学ぶ目的意識の強い者 (6) 目標に向けて継続的な努力を続けられる者
学部等名 経営学部 経営学科
教育研究上の目的（公表方法：大学公式ウェブサイト「教育情報の公表」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/）
(概要) 建学の精神「知徳一体」を基軸にした人格教育によって、多言語・多文化の平和的共存を実現するための包括的な価値観の形成及び人格陶冶を目指す。かつ国際教養教育により外国語・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えたグローバル化に対応できる国際的教養人を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）
(概要) 本学は、「人類に普遍的な道徳の最高原理に基づいた教育を行い、その精神の上に現代の科学と知識を十分に修得させる知徳一体の人材の養成」を使命としている。この使命に基づき、次のような人物の育成を教育目標として掲げている。 (1) 大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い英知を備えた人物 (2) 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物 (3) 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物 これらの人間像を「学士力」として言い換えれば、それぞれ、次のように表現される。 (1) 物事を公平にみる力 (2) つながる力 (3) 実行する力 本学では、基本的にこれら 3 つの力を備えた学生が卒業を認定され、学位を授与される。学部、専攻ごとに具体的なディプロマポリシーを設け、それらの判断基準に沿って認定された単位を、卒業要件単位数を満たす形で修得した学生に授与するものとし、これを本学

の学位授与方針とする。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/ ）
（概要） 本学では、変化の激しい社会を生きるため「生涯学び続ける力」を育む。そのため、全学基盤教育として、語学と世界を学ぶグローバル教育、建学の理念に学ぶ道徳教育、データや AI の活用について学ぶデータサイエンス教育、社会的自立に向け必要となる能力や態度を学ぶキャリア教育を 4 本柱とする「麗澤スタンダード科目」を設置している。主体的に学問と向き合いながら、専門教育を学ぶための基盤となる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、統合的な学習経験と創造的思考力を、文理横断・文理融合型の学びの中で身につける。 そのうえで、本学の学生たちは、それぞれの分野において、卒業認定・学位授与の方針に定める 3 つの力(物事を公平にみる力、つながる力、実行する力)を育むよう期待されている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/） （概要） 経営学と AI・データサイエンスの知識を活用して新たな企業価値を創造できる人材、ビジネスを通して社会課題の解決をデザインできる人材を育成するという教育目標を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身に付けている者を求め、受け入れる。 （1）「知徳一体」の教育理念を理解し、関心を持つ者 （2）経営学部 of 学習内容を理解し、関心を持つ者 （3）経営学部 of 学習に必要な基礎的知識を持つ者 （4）情報・データサイエンス等の基礎的な運用技能を持つ者 （5）経営学部で学ぶ目的意識の強い者 （6）他の人々と協調してグループワークやフィールドワークを行い、相互理解を図り、能動的な活動に取り組む意欲をもつ者 （7）独創性があり、新しいことに挑戦しようとする意欲を持つ者 （8）高等学校時代の学習及び諸活動において成果を挙げた者

学部等名 工学部 工学科
教育研究上の目的（公表方法：大学公式ウェブサイト「教育情報の公表」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/ ）
（概要） 建学の精神「知徳一体」を基軸にした人格教育によって、多言語・多文化の平和的共存を実現するための包括的な価値観の形成及び人格陶冶を目指す。かつ国際教養教育により外国語・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えたグローバル化に対応できる国際的教養人を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/） （概要） （概要） 本学は、「人類に普遍的な道徳の最高原理に基づいた教育を行い、その精神の上に現代の科学と知識を十分に修得させる知徳一体の人材の養成」を使命としている。この使命に基づき、次のような人物の育成を教育目標として掲げている。 （1）大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い英知を備えた人物 （2）自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物 （3）自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物

これらの人間像を「学士力」として言い換えれば、それぞれ、次のように表現される。 (1) 物事を公平にみる力 (2) つながる力 (3) 実行する力 本学では、基本的にこれら 3 つの力を備えた学生が卒業を認定され、学位を授与される。学部、専攻ごとに具体的なディプロマポリシーを設け、それらの判断基準に沿って認定された単位を、卒業要件単位数を満たす形で修得した学生に授与するものとし、これを本学の学位授与方針とする。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）
（概要） 本学では、変化の激しい社会を生きるため「生涯学び続ける力」を育む。そのため、全学基盤教育として、語学と世界を学ぶグローバル教育、建学の理念に学ぶ道徳教育、データや AI の活用について学ぶデータサイエンス教育、社会的自立に向け必要となる能力や態度を学ぶキャリア教育を 4 本柱とする「麗澤スタンダード科目」を設置している。主体的に学問と向き合いながら、専門教育を学ぶための基盤となる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、統合的な学習経験と創造的思考力を、文理横断・文理融合型の学びの中で身につける。 そのうえで、本学の学生たちは、それぞれの分野において、卒業認定・学位授与の方針に定める 3 つの力(物事を公平にみる力、つながる力、実行する力)を育むよう期待されている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）
（概要） 社会課題を発見しそれを解決していく力を持ち、他社会の多様な価値観を尊重しつつ、その解決策そのものおよび解決までのプロセスにおいて倫理的配慮を行うことができ、個人としての取組だけではなくチームで取り組むことができる人材を育成するという本学部の教育目標を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身に付けている者を求め、受け入れる。 (1) 基礎的な英語と数学の知識・技能を持つ者 (2) 地球規模で深刻化する社会課題を高い当事者意識をもって理解し、工学を中心とした科学技術の力をもって解決策を導き出し 仲間とともに持続可能性の高い未来を創造していく志を持つ者 (3) 高い倫理観を持ち、誠実で、成長し続ける意欲を持つ者

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.reitaku-u.ac.jp/about/organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	6 人	—					人
外国語学部	—	18 人	14 人	19 人	2 人	0 人	53 人
経済学部	—	18 人	3 人	0 人	3 人	0 人	24 人
国際学部	—	16 人	7 人	2 人	1 人	0 人	26 人
経営学部	—	8 人	8 人	0 人	3 人	0 人	19 人
工学部	—	10 人	7 人	0 人	0 人	0 人	17 人
学校教育研究科	—	5 人	0 人	0 人	0 人	0 人	5 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		88 人					88 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.reitaku-u.ac.jp/about/teachers					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
全学 FD 委員会 2025 年度は委員会を 4 回開催し、学生による授業アンケート実施の PDCA に基づく授業改善、教員間授業公開の開催、FD 研修会のアンケート結果等について議論を行った。 全学 FD 研修会 2025 年度は全教職員対象の研修会を年 4 回実施することができた。創立者の理念・業績、各事務部署による報告・情報共有、学生のメンタルケアなど、必要なテーマに沿って開催している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

[illegible]

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
外国語学部	173 人 (100%)	2 人 (1.2%)	151 人 (87.3%)	20 人 (11.6%)
経済学部	205 人 (100%)	2 人 (1.0%)	191 人 ()	12 人 (5.9%)
国際学部	121 人 (100%)	2 人 (1.7%)	103 人 (85.1%)	16 人 (13.2%)
合計	499 人 (100%)	6 人 (1.2%)	445 人 (89.2%)	48 人 (9.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
外国語学部	204 人 (100%)	152 人 (74.5%)	18 人 (8.8%)	29 人 (14.2%)	5 人 (2.5%)
経済学部	211 人 (100%)	179 人 (84.8%)	13 人 (6.2%)	19 人 (9.0%)	0 人 (0%)
国際学部	154 人 (100%)	106 人 (68.8%)	12 人 (7.8%)	26 人 (16.9%)	10 人 (6.5%)
合計	569 人 (100%)	437 人 (76.8%)	43 人 (7.6%)	74 人 (13.0%)	15 人 (2.6%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
1～2 月にシラバスの執筆期間を設け、各担当教員が期間内に WEB 上で執筆する。シラバスの内容には授業の方法及び内容、授業計画、到達目標、成績評価の方法等を含む。
3 月に WEB 上で公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 本学は、「人類に普遍的な道徳の最高原理に基づいた教育を行い、その精神の上に現代の科学と知識を十分に修得させる知徳一体の人材の養成」を使命としています。この使命に基づき、次のような人物の育成を教育目標として掲げています。				
① 大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い英知を備えた人物				
② 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物				
③ 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物				
本学では、基本的にこれら 3 つの力を備えた学生が卒業を認定され、学位を授与されます。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
外国語学部	外国語学科	124 単位	有・無	単位

経済学部	経済学科	124 単位	有・無	単位
国際学部	国際学科	124 単位	有・無	単位
	グローバルビジネス学科	124 単位	有・無	単位
経営学部	経営学科	124 単位	有・無	単位
工学部	工学科	124 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法： https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法： https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
外国語学部	外国語学科	830,000 円	260,000 円	980,000 円	施設費：300,000 円 寮 費：680,000 円(入寮は任意)
経済学部	経済学科	830,000 円	260,000 円	980,000 円	施設費：300,000 円 寮 費：680,000 円(入寮は任意)
国際学部	国際学科	830,000 円	260,000 円	980,000 円	施設費：300,000 円 寮 費：680,000 円(入寮は任意)
経営学部	経営学科	830,000 円	260,000 円	980,000 円	施設費：300,000 円 寮 費：680,000 円(入寮は任意)
工学部	工学科	1,090,000 円	260,000 円	980,000 円	施設費：300,000 円 寮 費：680,000 円(入寮は任意)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 各学期はじめに履修オリエンテーション、履修相談会を実施し、履修パス、履修上の注意事項等を示している。教務・国際交流課では各学生の単位修得状況に合わせ個別に対応している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） ・誰もが何度でも使える個別面談の実施をしている（3年生は必ず全員面談を行う）。 ・学内での合同及び個別企業説明会の実施をしている。 ・低学年次からのキャリア教育科目と公務員コースによる進路支援をしている。 ・就職活動のオンライン化に対応する設備の設置(オンライン面接等に活用できる個別ブースを5台設置、面談・イベントをwebで行えるオンラインキャリアセンターの設置等)
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） ・学生の心身の健康等を支援するために、修学サポート相談室及び学生課を設置している。 ・修学サポート相談室（学生相談室）では、大学生活への適応や年齢に応じた心理的発達の促進を目指し、専門家によるカウンセリングを通じた心理的援助を中心に、居場所や交流の機会の提供、教育的活動、保証人からの相談対応、教職員への学生対応に関する助言、学内の支援体制への提言等を行っている。 ・修学サポート相談室では、教職員及び関係部署、学外機関と連携しながら、障がい学生に関する全学的な支援体制をコーディネートしている。 ・学生課では、学生自らが健康の大切さと保持増進に向かう意識を育むことを目指し、健康

診断結果の確認や事後フォローなど、学生の心身の健康支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。